

# 外斜視

## 【子どもの外斜視とは．．．】

外斜視とは正面を見たときに一方の目の視線が外側を向いているものをいいます。

## 【原因は？】

眼球には6つの筋肉がついていて、これらの筋肉の伸び縮みによって眼球はいろいろな方向に動きます。この内の眼球の内側（内直筋）と外側（外直筋）についている眼筋が水平方向の動きに関係しますが、これらの眼筋の力にアンバランスがあるために斜視になっています。

## 【治療】

A. 程度が軽い場合（眼位のずれが $30\Delta$ 未満）  
視力と眼位を経過観察します。

B. 程度が強い場合（眼位のずれが $30\Delta$ 以上）  
寄り目ができる場合とできない場合で違います。

1. できる場合：両眼視ができていますから、小学校入学前に手術をすればよいでしょう。この場合の治療目的は、眼精疲労の防止と美容目的ということになります。
2. できない場合：両眼視ができていませんから、1才過ぎのできるだけ早い時期に手術を行うのがよいでしょう。

寄り目の練習をするのが視能訓練として有効とされています。また、間歇性外斜位/外斜視の場合には、眼位のずれが少なくなって、手術をしなくてもすむ場合もあります。

## 【経過】

両眼視ができている場合には、比較的経過がよいですが、できていない場合には、また外斜視に戻ってしまうことがあります。

日帰り白内障手術施設

眼科 中橋クリニック



7 5 2 - 8 8 1 8